

【報道関係各位】

2025年4月9日
一般財団法人 日本気象協会

2025年桜開花・満開予想（第8回） 九州から東北南部で見頃続く 桜前線は4月中旬に北海道へ

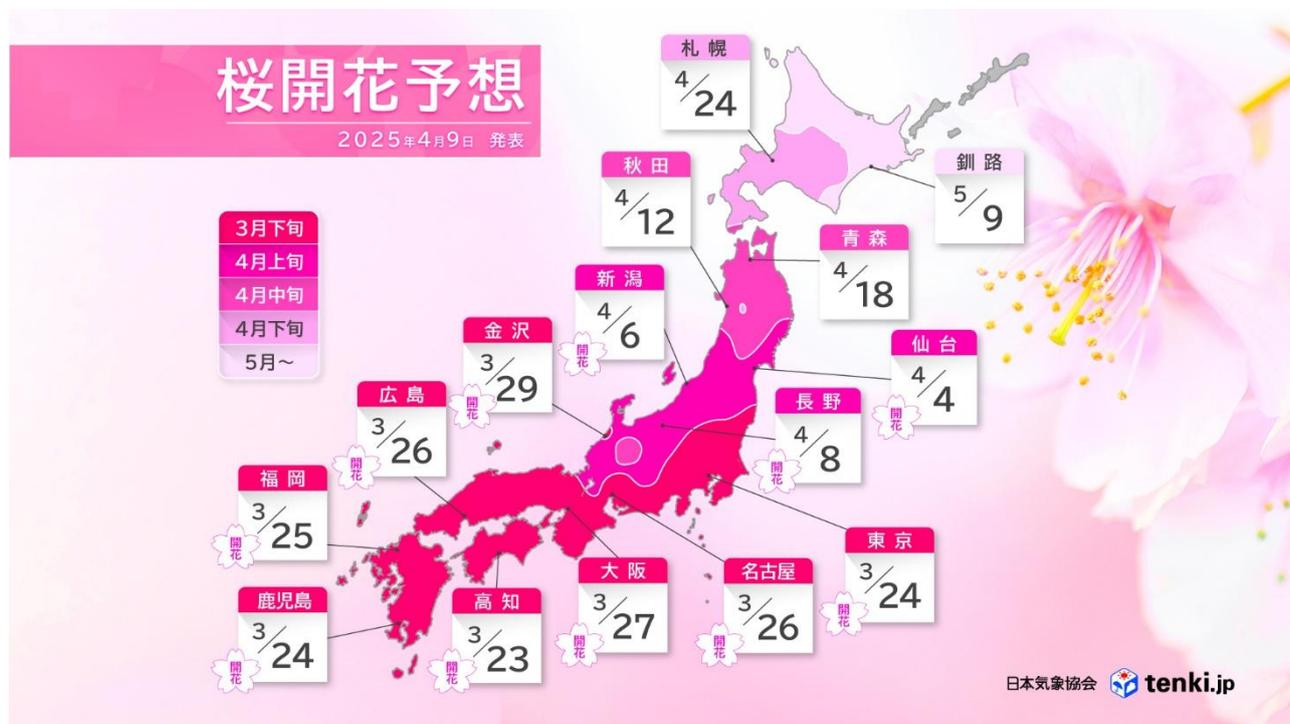
一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：渡邊 一洋、以下「日本気象協会」）は、日本全国84地点の桜の開花・満開予想（第8回）を、2025年4月9日（水）に発表します。

◆2025年桜開花・満開予想（第8回）のポイント

- ・九州から関東、北陸では、4月半ばごろまで満開の桜を楽しめる所が多い見込み。
- ・北日本の開花と満開は、平年より早い予想。
- ・東北では4月下旬にかけて、北海道では4月下旬から5月中旬に満開となる予想。

また、次回の桜開花・満開予想（第9回）は2025年4月16日（水）に行います。4月10日（木）から4月15日（火）までの間に予想日の変更があった場合は随時、天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじゃーぴー）』桜の開花予想ページ（<https://tenki.jp/sakura/expectation/>）にてお知らせします。桜開花・満開の最新の予想情報は『tenki.jp』にて確認ください。

開花予想前線図





開花の傾向

九州から近畿、関東甲信と北陸ではすべての地点で開花しました。これから開花する東海の標高の高い所では平年並み、北日本では平年より早い開花となるでしょう。

北日本では、3月以降、平年より気温が高い日が多くなっており、この先4月下旬にかけても暖かい日が多いでしょう。このため、東北北部はほとんどの地点で、平年より早く4月中旬に開花する見込みです。北海道では、4月中旬から5月中旬にかけて桜前線が進んでいくでしょう。

満開の傾向

九州から関東、北陸の広い範囲で満開を迎えました。東海から北陸のこれから満開を迎える所では平年並みか早く、北日本では平年より早い満開となるでしょう。

九州から関東、北陸では、3月末から4月はじめの寒の戻りの影響で、4月5日前後に満開となった所が多くなりました。満開から1週間～10日間ほどは見頃が続くため、これらの地域では4月半ばごろまでお花見を楽しめるでしょう。

この先、東北では4月下旬にかけて満開となり、北海道では大型連休のころには、多くの所で満開の桜を楽しめるでしょう。

【言葉の説明】

平年：1991～2020年の平均値

かなり早い	: 平年よりも7日以上早い
早い	: 平年よりも3日から6日早い
平年並	: 平年との差が2日以内
遅い	: 平年よりも3日から6日遅い
かなり遅い	: 平年よりも7日以上遅い

以 上



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1: 桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1: 以下の日程を予定しています。1 月、2 月中は開花予想日のみを発表し、3 月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第 1 回 1 月 29 日(水)	第 2 回 2 月 26 日(水)	第 3 回 3 月 5 日(水)	第 4 回 3 月 12 日(水)
第 5 回 3 月 19 日(水)	第 6 回 3 月 26 日(水)	第 7 回 4 月 2 日(水)	第 8 回 4 月 9 日(水)
第 9 回 4 月 16 日(水)	第 10 回 4 月 23 日(水)	第 11 回 4 月 30 日(水)	

Q2: 開花日・満開日の基準は？

A2: 気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で 5~6 輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で 80% 以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q3: 予想する地点数は？

A3: 1 月は 49 地点、2 月は 53 地点、3 月以降は全国で約 80 地点の予想を発表します。予想地点は、各地気象台が観測する標本木 53 地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる約 30 地点となります。

Q4: 日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4: 花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は 2007 年から桜の開花予想を実施しており、今年で 19 年目の取り組みです。

Q5: 開花予想に使うデータは？

A5: 以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。